

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社第一興商（証券コード: 7458）

【見直し変更】

長期発行体格付
格付の見直し

A
ネガティブ → 安定的

■格付事由

- (1) 業務用カラオケの設置台数で業界トップ。業務用カラオケ機器「DAM」シリーズの販売、賃貸、通信カラオケの音源および映像の提供のほか、カラオケルーム「ビッグエコー」や和・洋の個室ダイニングおよびアイリッシュパブなどの飲食店舗を展開している。また、音楽・映像ソフトの制作および販売、BGM 放送なども手掛けている。
- (2) 営業規制や行動制限のないウィズコロナ政策が定着しつつあり、コロナ禍の影響を強く受けていたカラオケ・飲食店舗事業の業績回復の道筋が従前よりも見通しやすい。また、業務用カラオケ事業の収益力は比較的安定しており、今後も利益の下支え効果が見込まれる。感染状況やコロナ政策に引き続き留意は必要であるが、当社の業績は徐々に改善が進むと考えている。財務内容は健全である。以上から、格付は据え置きとするが、見直しをネガティブから安定的に変更した。
- (3) 23/3期は営業利益120億円（前期は2億円の損失）と、3期ぶりの黒字転換を計画している。23/3期第2四半期累計ではカラオケ・飲食店舗事業の赤字幅縮小が寄与し、54億円の黒字（前年同期は19億円の損失）となった。ただし、コロナ禍での新しい行動様式の定着により、ビジネス立地や深夜帯の店舗の需要回復には時間を要する可能性がある。カラオケ店舗では最新機器の導入、飲食店舗では需要に即した業態転換などを通じて、競争力および集客力の向上を図ることが重要である。また、業務用カラオケ事業では市場拡大が見込まれるエルダー施設の開拓に引き続き取り組んでおり、中期的な利益貢献の進捗を確認していく。
- (4) 23/3期第2四半期末の自己資本比率は57.8%（22/3期末は57.4%）、自己資本は1,066億円（同1,035億円）となった。コロナ禍前（20/3期末は74.0%、1,344億円）と比較すれば、最終損失の計上や資金借入の実施によって財務指標は悪化したものの、健全な水準を維持している。今後、業績の回復とともに自己資本の拡充も見込まれ、財務面で特段の懸念はない。

（担当）千種 裕之・石崎 美瑛

■格付対象

発行体：株式会社第一興商

【見直し変更】

対象	格付	見直し
長期発行体格付	A	安定的

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2022年11月22日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也
主任格付アナリスト：千種 裕之
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 株式会社第一興商
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいで行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル